



～文教のまち西原～

2002年 No.362

広報

# にしはら

4

編集・発行／西原町役場企画財政課（広報係）西原町字嘉手苅112番地 ☎098（945）4533 印刷／グローバル企画印刷（株）

津花波区のいいあべー共生事業にかよう

おばあちゃんたちが、物を大切にしてほしいという願いを込めて、

新一年生に手作りのぞうきん30枚をプレゼントしました。

これで心も教室もピカピカにね！



## しん いち ねん せい 新一年生へのメッセージ

こんにちは！にやがく しんいちねんせい みな にやがく  
今年小学校へ入学された新一年生の皆さん！入学おめでとうございます。

みなさんは今日からピカピカの一年生！希望にあふれ、誇らしげにランドセルを背負う姿がとても輝いてみえます。

小学校では、たくさんのお友達と勉強したり、遊んだりして楽しく過ごして下さいね。

わからないことや困ったことがある時には、先生やお父さん、お母さん、そしてまわりのみなさんにお話して下さいね。みんなでお手伝いをします。

お父さん、お母さん、そして地域のみなさん子どもたちの健やかな成長をともに温かく見守っていきましょう。



イラスト  
Runko Oshiro

西原町のホームページアドレス <http://www.town.nishihara.okinawa.jp/>



町の花・ブーゲンビリア



町の木・ガジマル



町花木・サワフジ

## 西原小学校ソフトテニス部が全国大会出場

西原小学校ソフトテニス部のみなさんが2月10日に北谷町で行われた第27回小学生ソフトテニス大会で上位入賞し、3月1日、町役場を訪れ町長にその報告をしました。

男子ダブルスで優勝した5年生の安里和哉キャプテンは「県大会では風が強く最初は慣れなくて負けていたけど、だんだん調子でできて勝つことができた。全国大会では二、三勝して波にのり、ベスト四をめざした」と報告しました。

翁長町長は「よくがんばりました。ご両親や先生方に感謝して、全国大会でもがんばってください」と激励しました。

西原小学校ソフトテニス部のみなさんは、3月30日から千葉県で行われる全国小学生ソフトテニス大会に県代表として参加しました。



## 楽しいお話お届けします！ 西原東小学校で絵本読み聞かせ



2月26日、午前、西原東小学校で、絵本の読み聞かせの活動を行っている「ママの宅急便」のみなさんが、同校の三、四年生を対象に絵本の読み聞かせを行いました。

「ママの宅急便」（中村初美代表）は、絵本の読み聞かせ研究会で知り合った那覇市首長のみなさん十人が、各地に出向いて読み聞かせを行っている団体です。

この日の読み聞かせ会では大型絵本や大型人形パネルを使って、生徒たちが関心するところに工夫されていて、子供たちは物語の進行に、みな入っていました。

中村初美さんは「母親として、できることをやっているというボランティアの気持ちですめています。いろいろな地域にでかけていきたい。会員も募集していますのでよろしく」と話していました。

連絡先は887-1588（中村）まで

## 生活研究会の まーさいびーんどお



材料と分量	シロバサセンダングサ	200g
ピーナツバター	大さじ 1	大さじ 3
白みそ	大さじ 1	大さじ 1
すりごま	大さじ 3	大さじ 3
砂糖	大さじ 1	大さじ 1

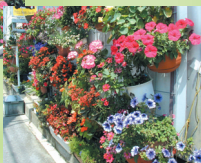
### 作り方

- ① シロバサセンダングサは、さつとゆでて水にさらしてしぼっておきます。
  - ② 豆腐は潰通して、布巾で水気をしぼっておきます。
  - ③ かつうに豆腐、その他の調味料をすべて入れて混ぜ合わせます。シロバサセンダングサを潰通した水気を絞ったものに、和え茶和えします。フグダマや、二かたでも良い。
- ※シロバサセンダングサは強いので、水を取り替えてしばらくつけること。

## 春です！ ガーデニングしませんか



城間吉男さん（宇翁長205-2）のガーデニング。県道38号線沿いにあり、通動のみなさんの目を楽しませてくれています。城間さんは「お店で使っている水を捨てるのがもったいないので、ガーデニングにも使っています」とかしく育てていらっしゃいます。







青い花（ブルーパンピア）

〔5〕土地地区整理事業（上原、棚原地区が開完了・西地区及び中心核地区の推進）

交通安全対策、消防防災については、

- （1）翁長・棚原コミュニティ道路整備事業
- （2）交通安全・防犯・防災意識の高揚

行財政改革については、

- （1）行政改革大綱及び実施計画の本格実施
- （2）行政組織機構の見直し
- （3）電算化推進
- （4）庁内LAN・事務効率化
- （5）4町有地管理処分推進
- （6）広域行政の推進
- （7）6町補給金制度検討委員会の設置
- （7省エネ）省エネ対策を推進していきます。

以上、町政運営の基本姿勢を申し上げますが、次に平成十四年度主要施策の概要を申し上げます。

## 1 平和事業の推進

二十世紀は一度にわたって世界大戦を経験し、「戦争の世紀」といわれました。特に、去る神縄戦では県民約十数万人が犠牲になり、本町においては住民の約半数近く、

の尊い命と多くの貴重な財産が自然を失いました。

このうなことから、私は平和の問題については、町政の最重要課題として位置づけ、あの忌むらしい旧戦禍を忘れることなく後世に語り継ぎ平和な社会建設に努めていくことが何より優先すべき課題であると考えております。

そこで、護憲・反戦平和・命どう玉を基調に、引き続き第十五回親子で学ぶ戦争追体験平和バスツアーを実施するとともに、平和写真展、平和講演会の開催、さらには慰霊の日事業として「平和コンサート2002」を開催し、戦争と平和について、町民が共に語り考え、学ぶ機会を設けていきます。

平成十三年度は、戦争体験者の町民を「平和の語りへ」として、平和講演会に招いてきました。今年度も、各学校、地域等において、「平和の語りへ」による「出前戦争体験講話」を実施します。



平成十四年3月2日に「平和の語りへ」のみなさんに体験談を語ってもらった「平成十四年度平和講演会」

放課後児童対策事業の推進及び母親クラブの育成等、児童の健全育成に努めます。

母子、父子の「人親家庭は、社会的にも経済的にも不安定な現状にあり、医療費助成事業や児童生活支援事業を実施してその福祉の増進を図ります。しばらくは平成十三年九月より活動を再開したことに伴い、町母子寡婦福祉会への補助金の助成を行ない、その福祉の増進に努めます。また、児童虐待が大きな社会問題としてありますが、本町においても、その対策として、学校や地域をはじめ、関係機関・団体と連携し、未然防止に努めます。

〔3〕障害児（者）の福祉  
すべての人が個人として尊重され、安全かつ快適に暮らすことができ、自らの意思で等しく社会参加活動することの意義をまっすぐりを持っていくことがとても重要だと考えます。障害をもつ町民が暮らしやすい社会を目指して策定された町障害者計画「ほのぼのプラン」に基づき、各町の障害者福祉の充実強化を図ります。併せてパリアフリーについても、町民への啓発、広報活動も図っていきます。

今年度は、坂田児童館を開設するとともに、児童館運営事業、

また、町制施行二十周年記念事業として整備された旧西原村市場跡や「弾痕の石欄」の利活用とともに、引き続き戦争遺跡等の保存に努めます。

今年度は、これまでの平和事業について、その見直し、検討を行い、より効率的な事業実施の推進を図ってまいります。

## 2 地域福祉の充実

新世紀を迎えた現在、社会は大きな変革期のためになく、少子・高齢化の進行、社会構造の変化に対応する新たな社会福祉への町民ニーズは、ますます増大しつつあります。

このような社会情勢の中、障害者や高齢者、生活困窮者を含む町民が、生きがいのある豊かな生活を送ることができる明るい住みよい社会を実現するために、保健・医療・福祉の調和のとれた総合的な施策の確立が求められています。

今後の福祉行政の推進に当たっては、社会福祉協議会や各種福祉団体等との連携により民間団体を一層高め、町民の福祉ニーズに対応した地域福祉の充実を図ります。

### （1）老人福祉

これまで町老人保健福祉計画（こ

保身を行い、保育所、児童館との連携を図るとともに、新たに福祉の町「えぶらん」への助成を行います。

また、新設した手話奉仕員養成事業を行い、手話奉仕員の資質の向上を図り、障害者の社会参加をより促進させていきます。そして母性障害者協会、町障害児（者）父母の会・はなはな共同作業所並びにまわり作業所への補助金の交付や関係団体との連携を強化してその育成に努めます。

### （4）ボランティア活動の推進

町民の多様な福祉ニーズに対応した活力あふれるまちを築いていくためには、町民相互の助け合いや交通の輪を広げ、共に生活する地域社会づくりに重要になってきております。平成十一年度より町社会福祉協議会が「ふれあいのまちづくり事業」の県指定を受け、ボランティア活動の基盤整備を図り、地域福祉の推進に意欲的に取り組んでおります。また平成十三年度策定された西原町地域福祉強化（後期）計画を活用促進し、ボランティアセンター、ボランティア連络会の機能充実強化を図るとともに、小地域活動ト

ウキ事業の新規導入、見守り活動、友愛訪問交流会等を支援します。

者が住み慣れた家や地域で尊重され、安心して日常生活が送れるよう各町老人福祉ニーズの充実強化に努めてまいります。今年度は、さらに、一歩暮らし老人の配食サービス、老人クラブと介護保険事業計画の見直し及び老人保健福祉計画（こぶきプラン21）の見直し作業を行い、さらなる老人福祉の充実強化に努めてまいります。

また、介護予防事業を重点施策として、介護予防のための拠点整備事業として（飯塚、いんげん、1全町）の施設整備を行い、

- （1）介護予防防犯の推進（転倒骨折予防教室、痴呆予防教室）
- （2）機能訓練B型の実施（マッサージ・軽体操等）
- （4）家族介護者の開催（介護方法、介護者の健づくり等）の拡充強化を図ります。

さらに、高齢者が生き生きとしたライフスタイルを実現できるように健康づくりと生きがい対策を図るため、老人クラブ連合会や単位老人クラブへの補助金交付するとともに、高齢者が長年培った知識、経験、能力、技能を活かし、社会参加を進めている町シルバー人材センターの支援を図ります。

### （2）児童・母子・父子福祉

そして、今後継続してボランティア養成、支援育成に取り組みます。

## 3 保健医療の充実強化

高齢化が進行する中で、家族生活や女性の社会進出等を背景に、高齢者を取り巻く環境が段々と厳しさを増していき、総合的な健康づくり対策が求められております。基本的な予防対策である健康教育をはじめ、健康相談、住民健康診査、ガン検診等の各種検診、機能回復訓練事業、訪問指導等を実施し、引き続ききこえ保健事業の向上に努めます。さらに、国は「健康日本21」計画を掲げ、より生き生きとした人生を、できるだけ長く送るための健康寿命を延ばす施策を打ち出しました。それに伴い、本町でも健康長寿をめざしてまいります。

また、母子保健事業においては、妊娠産後、乳幼児期の健康管理を十分にいい、安心して産み育てるために、妊婦、産後、育児についての知識の普及、啓発事業、疾病の早期発見・予防及び健康づくり事業の強化を図ってまいります。さらに、全額の一住民参画型母子保健計画が策定されたので、本年度は、それに沿って実施してまいります。

予防接種事業については、疾病









町の花・ブルーベリー

の供用開始に合わせて、本町の公共下水道も一部供用開始しますが、供用開始に伴い、水洗便所改造等、資金融資制度の創設により、供用開始区域の加入率の向上及び運営業務の充実が図られてまいります。

### (5) 交通安全施設の整備と安全教育の推進

本町は都市近郊に位置し、通過交通・城内交通の増えによって、年々交通事故も悪化の傾向にありますが、県内においては、昨年、交通事故死が前年より九十七人、うち交通死亡事故が多発し、事故発生から三日以内で九十八人、うち浦添署管内八人、本町では一人がその犠牲となっており、今年に入っても交通事故が多発し、異常事態を懸念が出されるなど、再び死亡事故が増加傾向にあります。本町は、交通事故の未然防止と住民の生命の安全確保のため、交通安全の命を宣言し、広告塔を設置して積極的に交通安全意識の高揚に努めてまいりましたが、今年度は新規事業として、翁長・郷原コミュニティ道路整備事業をはじめ、道路すべり止め、道路照明灯、道路反射鏡、道路区画線、道路標識、信号機等の交通安全施設整備促進を図ります。

次に、交通安全教育については、これまで同様、関係機関・団体と連携して、幼児、児童生徒及び高齢者の交通安全指導、街頭における立派指導、広報活動等を引き続き実施します。特に、交通事故が薄暮時にも多く発生していることから、「ライトの早めの点灯」を実施し、また、本年六月二十日までに改正道路交通法等が施行されることに伴い、関係機関・団体と連携しつつ、事故の未然防止と交通安全意識の高揚を図り、安全で住みよいまちづくりに推進したいと考えております。

### (6) 消防・防災体制等の確立

阪神・淡路大震災にみられる自然災害などから町民の、生命、財産を守るため、町域防災計画に基づき、年次的に地域防災体制の確立に取り組むとともに、河川や緑地などの自然環境の保全を図ります。

また、公共施設や公園、緑地など、避難場所について町広報誌を通じて町民への周知を図るとともに、防災意識の高揚に努めてまいります。一戸一灯運動などの防犯活動に取り組む。消防・救急活動については、町民の火災予防と防災意識を高めるとともに、消防・防災体制の強化

に向けて東部消防組合の一層の連携・強化に努めます。

### (7) 環境保全と造林緑化の推進

環境問題は、経済の発展や産業構造の変化に伴う生産・消費活動の拡大に伴うライフスタイルの複雑多様化によって、毎年多量に廃棄物が発生しており、ダイオキシンの有害化学物質への不安が不法投棄の増大の問題があり、対策を講ずる必要があります。このため、環境測定調査、空き地対策、各区共同清掃作業、廃棄物の再利用、資源とゴミの再使用、再利用を進め資源循環型都市の実施します。

近年のこの問題の深刻化や社会的関心、特に最終処分場の狭隘化と相まって、その減量化と資源の増大が求められ、この減量化対策を実施しているところであり

本町では、平成十年一月から五種類別に発行しましたが、平成十三年八月一日からは四種類分類とし、ごみ袋の指定化、粗大ごみの有料化を実施し、この減量化対策を実施しているところであり

このよな中で、南部広域一般廃棄物最終処分場諸設備の継続、生ごみ処理場、生ごみ処理器・E-Mポット購入補助、事業系一般廃棄物減量、買物袋持参運動等

教育の充実、国際交流委員の配置及び海外研修派遣事業の充実化とともに、教育相談事業の充実、県委託事業の心の教育相談、スクールカウンセラー事業を推進し、調いのある教育環境づくりを図ります。また、学校、家庭、地域社会と連携を図りながら、国の指定による二つの体験活動推進事業を実施するとともに、「地域ぐるみ基礎学力向上推進協議会」及び教育諸団体への助成等、諸施策を推進し、教育の充実強化に努めます。



中学生の福祉・環境体験「チャレンジ・ウィーク」でゴミの分別を手伝う生徒たち

さらに、子育て支援事業としての町立幼稚園に園児を対象にした「預かり保育」、緊急雇用創出特別事業による「西原図書館資源共有化事業」を実施します。また、警察、学校、地域住民等が協働して、ハード・ソフト両面から総合的な防犯対策を講じ、みんなで犯罪から子どもを守るための「地域ぐるみの学校安全推進モデル事業」を導入します。

学校給食共同調理場では、幼稚園

ごみの減量化促進を図るとともに、グリーン購入、エコラフの育成、このリサイクル教育を推進し、地域の活動及び環境教育を推進します。

また、昨年度策定した「西原町地域省エネルギービジョン報告書」に基づき、地球温暖化防止に向けて、より良い施設のかつ積極的な省エネルギーの推進に努めます。

生活排水対策については、平成十年度から導入した合併処理浄化槽補助金制度（国庫補助事業）を活用するとともに、平成十四年三月に策定した西原町生活排水対策推進計画に基づき、河川の水質の改善を図り、草地のできる川を推進します。また、環境行政にいて、引き続き、地域環境と調和がとれるよう努めます。無秩序な開発の防止に努めます。

緑は、地域景観の骨格を形成するとともに、地域住民に自然との共存を実感させ、また、国の保全、水資源・自然環境保全等の公共的な機能を持つていく、豊かな町民生活を維持していく上で大きな役割を果たしています。今年度も引き続き、造林事業、保育事業や公園、町道等公共施設の緑化を推進し、調いにと努めます。ある緑豊かなまちづくりに努めます。

### 5 教育、文化、スポーツの振興

教育・文化・スポーツの推進に当たっては、国、県の教育、文化施策の動向を見据えながら、次代を担う幼児、児童生徒の健やかな成長に向け、本町の教育基本目標である「平和を愛し、勤労を喜び、明るく、たくましい行動力」をめざす意欲に満ちた人間の育成」をめぐして、国際化、高度化、多様化する学習ニーズに対応できる学習環境の整備に努めます。また、四月一日の完全学校週五日制及び新しい学習指導要領の実施に伴い、創設された「総合的な学習の時間」及び選択学習の幅の拡大等に積極的に取り組み、各学校における創意工夫を活かした特色ある学校づくりに努めます。さらに、文化、スポーツの振興を図るとともに、町民の多様な学習ニーズに応える生涯学習のまちづくりに努力を重ねてまいります。

また、本町は、これまで琉球大学や沖縄キリスト教短期大学等のノウハウや施設を活用を図っており、また大変革の時代に入っしてあります。今後、地域密着型の開かれた大学と町政との一層の連携強化を図り、町民の生涯学習等の具

体的な支援方策を検討するため、プロジェクトチームを設置します。

(1) 学校教育の充実  
学校教育においては、児童生徒が自ら学ぶ、自ら考え、主体的に行動する等の生き方を育み、思いやり、協調性など豊かな人間性を培う心の教育の充実を図ります。また、地域に開かれた教育をめざし、西原東小の開放、保育所、児童館、学推館、地域自治会及び「いいあべー共生活事業」との連携を図り、異世代、異世代間の交流を推進する「総合的な学習の時間」の取り組みに対し、各小中学校への助成をしております。さらに、私立幼稚園国庫奨励補助金の交付等を行うとともに、幼児教育をほしめ、平和教育、国際交流情報教育、福祉教育等の推進を図ります。

小学校施設の整備については、坂田小学校普通教室増設工事、西原東中学校普通教室増設工事、緊急雇用創出特別事業による町立学校小修繕事業の実施及び西原南小学校創立十周年記念事業を実施します。また、このように、学校教育の充実を図るため、今年度も指導主事の二人制、外国青年招致事業による語学指導助手と町単独での語学指導助手の配置による英語

生生涯学習を推進するに当たっては、町民の多様化、高度化する学習ニーズに応えて、いづれでも、どこでも、だれでも「学ぶ」ことができる生涯学習体制の確立が強く求められており、文化・スポーツ活動等を含めた多様な学習活動推進施策を実施します。



田のへ、カブナ

ウバ及び沖縄文化への関心を高めていきます。

さらに、生涯学習活動の機会及び情報を町民へ積極的に提供するとともに、完全元校週五日制の実施に伴い、引き続き、親子ふれあい自然体験事業及び各小中学校における家庭教育学習の充実を図ります。

### （3）スポーツ・レクリエーション活動の推進

体育、スポーツは、心身の健全発達に資することにも、明るく、豊かに、活気に満ち溢れた社会形成に役立つものであり、町民のスポーツ・レクリエーションに対する関心の高まりや多様化に対応するため、これまでも、学校施設では、運動場、体育館、プール等の有効活用、運動公園は、町民体育館、陸上競技場等のスポーツ施設を広く開放してきました。また、本年度は、地方自治体が整備したのりくゴルフ場の供用を開始し、新しい軽スポーツとして普及を図りながら、町民の健康づくり、交流の場及び観光資源として、まちづくりに役立てていきます。

健康づくり・体力づくりについては、関係各機関・団体と連携を図りつつ、高齢者健康教室・婦人健康教室・少年スポーツ教室・親

子軽スポーツ教室等の健康教室、各種指導者講習会、町民新春トリマラソン、少年少女陸上競技大会等の各種スポーツ大会、いきいき健康フェスタ2000等を開催し、生涯スポーツの振興を図ります。

### （4）青少年健全育成の推進

次代を担う青少年は、一人一人が心身ともに健やかに成長することは、町民の願いであり、また、青少年を健全に育成することは、社会全体の責務でもあります。現代社会が複雑・多様化していく中で、青少年が取り巻く生活環境等も著しく変化し、厳しい状況にあります。特に、児童生徒の問題行動は、相次ぎ増加傾向にあり、犯罪の低年齢化、凶悪化、不登校・いじめ、金銭せり、喫煙、飲酒深夜徘徊、殺傷事件等は、大きな社会問題となっております。今後とも、このような問題解決に向けて、学校、家庭・地域社会が相互理解を深め、連携協力し、一丸となることが取組であります。町青少年健全育成協議会、町子ども会育成連絡協議会、町スポーツ少年団等の社会教育団体と連携を密にするとともに、中学校単位の生徒指導連絡協議会をはじめ、学校、P

ＴＡ、教育相談室、民生委員・児童委員及び保護団体と緊密な連携を図り、青少年の健全育成を努めてまいります。

また、毎週土曜日は、衛星放送による「子ども放送局」番組を町中央公民館で放映し、子どもたちの探求心や将来への夢を高める機会を提供してまいります。

### （5）文化事業の推進

近年、住居の価値観の多様化やライフスタイルの変化により、本町の歴史や風土に育まれた伝統芸能、美術工芸に対する理解が深まる一方、町の文化振興施策や町文化協会等、町民団体の幅広い芸術活動を通じて、市民の幅広い地域文化創造の気運が高まっております。本年度も、琉球文化や文化財保護思想と普及・啓発を図るため、城跡めぐり、琉球歌めぐり、民俗資料収蔵等を実施するとともに、児童生徒の心豊かな情操の育成に向けて、町文化協会と連携し、琉球鑑賞会を開催します。

町の歴史・文化・産業等の記録を愛する町民の郷土の理解と愛着を深める町歴史編集事業については、『西原町史』付録刊行、西原の歴史の発刊をはじめ、第八巻・資料編、西原町の代経詩、第九巻・資料編八「西原の方言・地名」の編集を進めてまいります。

### （3）林業の振興

森林は国土の保全と地下水の保水機能、空気の浄化機能を有し、人間生活に密接不可分の関係にあります。昨年は大雨により傾斜地において地滑りの発生が多量に確認されており、新築農地・施設保育、雑草下刈を実施し、自然環境の保全形成、機能の維持増進に努めてまいります。

### （1）商工業の振興

国内経済情勢が長期不況の中で、中小企業ととりまく経営環境は厳しい失業率も依然として高い水準にあり、地域産業の育成確保と雇用の場の創出が大きな課題となっております。

労働者の福祉増進、雇用促進のための厚生施設として、また、商工活動の拠点としての共同福祉施設の運営強化、利活用を図るとともに、厳しい雇用環境を克服して緊急雇用対策事業の取り組みや町民優先雇用についても、企業訪問、説明会等、各種事業所の協力を得ながら積極的に推進しています。現在、商工会が推進しているサワフジまちおし事業を支援し、地域の活性化を促進し、商工業の振興をはかります。

例年、産業まちは、農産物と農産加工品を中心に開催されてきましたが、今年は、町と商工会、ＪＡ、農産団体、各種団体が地域活性化のために二層連携を図り、町内の素晴らし農産物や商業製品を特産品として、町内外でアピールできる「仮称」西原町農業まつりを開催し、地域農業と商工業の発展に努めます。

### 7 男女共同参画行政の推進

本町は、これまで良の男女共同参画の実現をめざした各女性行政施策を推進するため、女性行動計画推進本部及び女性行動計画地域推進委員会を基盤とし、さわふプランとさわふく実施プランの計画、体系的な事業執行に努めてきたところです。その結果

### 6 産業の振興

#### （1）農業の振興

農業をとりまく経営状況は、農産物の自由化や産地間競争の激化による農産物価格の低迷と農業者の高齢化・農業担い手の減少さらには遊休地の増大等、大きく変化しております。また、例年のように自然・災害に見舞われるなど、自然環境においても厳しい状況にあります。

このような状況の中で、内外の情勢変化に対応できる足腰の強い農業の確立が急務となっております。

昨年は、ＪＡサンライズが栽培普及に努めた平網掛け防風施設のパナハハウスを導入しましたが、今後、同施設の導入により、新規生産者の育成、施設栽培技術、計画的な作付け体系を確立し、高品質安定出荷をめざします。また、地域活性化と農家の自立を含めた農業振興の持続的発展を図るため、農業問題懇話会の継続、高齢者ビジョンの推進、農業基盤整備事業



町花火、サワフジ

地方自治法に基づき各種審議会・委員会等の登用率も県平均9・2％に対して23・0％。その他の各種審議会・委員会等については3・2％に達しています。引き続き政策・方針決定の場合の女性登用問題については、庁内にもとより各種審議会・委員会等、計画的かつ積極的な登用を図り、各種企業についても、引き続き、女性の雇用機会の拡大、管理職への登用の要請を行います。

町民一人ひとりの人権が尊重され、男女が平等に豊かに活力ある社会を実現するためには、「女性に対する暴力（DV）」、「セクシュアル・ハラスメント」は女性への人権侵害として、大きな妨げになっており、その防止に向け、町民への意識啓発及び支援等に取り組んでいきます。さらに、女性の職等の海外研修、日本女性会議への派遣事業を推進する一方、町女性団体連絡協議会や各種団体と連携し、各種講演会の開催をはじめ、男女平等、女性の社会参画のための意識啓発事業等を推進します。

また、さわふじブランド策定から十年目を迎える今年度は、第二次町女性行動計画の策定に向けて、町女性行動計画策定委員会を設置し、幅広い意見を反映させた女性行動計画策定に取り組んでまいり

ます。

## 8 国際交流事業の推進

近年交通運輸システムの発達や情報通信技術の高度化に伴い、女性・経済をはじめ、あらゆる分野において、人物・情報の移動が世界的規模で拡大しております。そして、国境を越えた地域間のボーダレス化が一般化し、地域経済や住民の日常生活も国際社会の動向に大きく影響される新たな時代を迎えています。

本県は、歴史的・地理的特性と国際性豊かな県民性を活かした国際交流拠点として、大きな期待が寄せられております。このような中で、昨年は、「第三回世界のフチナンチュ大会」の開催と運動、本町でも開催まつりの中で、「第三回世界の二ハラングの集い」を開催、世界各国から百人余の町出身海外移住者が参加し、町民とともに諸活動に参加し、信頼と連帯感に満ちたコミュニケーションの形成に努めることが最も大切です。そこで、活力に満ちた明るい住みよい地域に形成されるに向けて、事務委託制及び書記設置補助金制の活用を通じて、各自治会の自主的な地域自治活動を促進する一方、その他一般コミュニケーション助成事業、町単独の手づくりの

引き続き日本語講座の充実・強化及び日本・太平洋島嶼県人計画の導入を検討してまいります。さらに、昨年度策定された国際交流指針に基づき、町民の主体的な国際交流の推進に取り組ま



平成13年1月3日、4日に開催された「第三回西四国まつり」のなかで町民が参加した「第三回世界の二ハラングの集い」でマレシアにむけて「西四国」を合唱するハワイの西四国入会のみかん

## 9 地域活性化事業の推進

地域の活性化を図るためには、それぞれの地域に活かしている人々がその地域性を生かす一つ、自主的に諸活動に参加し、信頼と連帯感に満ちたコミュニケーションの形成に努めることが最も大切です。そこで、活力に満ちた明るい住みよい地域に形成されるに向けて、事務委託制及び書記設置補助金制の活用を通じて、各自治会の自主的な地域自治活動を促進する一方、その他一般コミュニケーション助成事業、町単独の手づくりの

まち整備事業を引き続き実施します。また、近隣の国や県の電子政府・電子自治体の急速な進展及び自治体を取り組むICT化の流れを受けて、本町においても庁内ネットワークの整備や職員のパソコン研修の充実強化を図るなどのICT環境の整備に努めるとともに、町内のネットワーク基盤の整備を推進するため（仮称）地域情報化計画の策定に取り組ま

## 10 広報・広聴活動の推進

町民の意見や要望をできる限り町政に反映させる一方、行政情報を正確かつ迅速に伝達する町広報・広聴活動は、より民約で開かれた行政運営を推進する上で最も基本となるものである。そこで、広報活動の基軸となる広報にしろについては、県広報コンクール四年連続の入賞を果たすなど、これまで、町民により親しまれる広報紙を充実させ、紙面数や紙面内容の充実に、改善を図ってきたところですが、今後とも可能な限り各課作成のチラシ等、町民の利便性を高めるしていきたいと考えています。

さらに、インターネット及びホームページの充実を図ることにより、町の情報を世界に発信すると

ともに、電光掲示板や地域コミュニティ開放（FMJ）を活用し、引き続き町民のより身近な情報を提供してまいります。

広聴活動については、これまでの各種審議会・委員会等の開催はもとより、情報公開制度の活用及び町民公募制度の推進を通して町民参画の機会を創出するとともに、Eメール、町民アイデア箱、窓口相談制度の活用を通して、きめ細かな広聴活動の推進と各種相談業務の推進に努めます。

今年度は、町民の意見・要望・提言などを広聴するため、行政懇談会の開催や行政チェックシステム制度の活用により公共サービスの改善を図ってまいります。

## 11 執行体制と行政の確立

執行体制につきましては、人口急増をはじめ、継続事業や新規事業への対応、さらには、地方分権による国県との権限委譲等に伴う自治事務法定受託業務の増大、介護保険制度の推進と、行政需要は年々増大する中で、住民サービス向上に向けての行政改革がなお一層求められております。そのため、執行体制の確立に当たっては、行政体制大綱及び実施計画を踏まえて、スクラップ・アンド・ビルドを基本に、一灌職種

替等による定数抑制、命令系統の明確化、決裁事務の迅速化、行政運営の効率化、管理・機能シテムの合理化、指定生機機関の一本化、自治体間交流やまちづくり研究会等の支援、職員研修による資力の向上と意識の改革等により、執行体制を確立し、住民サービス向上に努めます。

迅速かつ適切な住民サービスの向上については、複雑・高度化する行政事務を効率的に処理するための町総合行政情報システム導入基本計画に基づき、電算単独導入と庁内LAN、地域情報化施策として地域インターネット導入促進事業を行いました。今年度もその拡充に努めます。

行政運営の公正の確保、透明性の向上、及び町民の権利利益保障については、引き続き、情報公開制度・個人情報保護制度の運用、強化を図ります。

今年度は、中長期的視点に立脚した行政運営の確立に向けて、まちづくり基本条例、町町台供庁舎建設問題の検討、町町台管理処及び公共用地（図書館）取得の推進を図ります。

財政運営については、長らく不況を背景に依然として厳しい経済状況下であり、国家財政も地方財政もその影響を請い受け、特に、税財源移転を伴わない地方分権や

介護保険の施行等、増大する行政需要に対応する所要財源の確保に大変急務となっています。予算編成については、国の地方財政対策、県の予算編成説明会での資料を十分に活用し、歳入において、町税、地方譲与金、地方交付税、各課交付金、国・県支出金、町債等の的確な把握に努めます。

自主財源の拡大を主として税にについては、税制改革による恒久減税措置が進む中であって、課税客体の把握、徴収率の向上に努めるとともに、自主財源確立推進本部の下に、納税思想の高揚と自主財源の確保に一層努力します。

また、歳入については行政需要が増大する中で、省エネギープジョンの具現化、一般行政経費の抑制、節減合理化に努め、予算配分についても、総合的な見地から各種施策、事業等を厳選し、重点的、効率的な財政運営に努めます。

平成十四年度の各予算については、申し述べた諸施策事業等を中心に編成しています。なお、（一）内の数字は対前年度当初比率です。

## 12 予算案について

（一）一般会計繰入歳出予算案  
9,195,260千円  
（14・9％）

（二）老人保健特別会計歳入歳出予算案  
1,707,819千円  
（7・1％）

（三）国民健康保険特別会計歳入歳出予算案  
2,433,348千円  
（10・2％）

（四）介護保険特別会計歳入歳出予算案  
1,104,684千円  
（5・1％）

（五）土地区画整理事業特別会計歳入歳出予算案  
1,294,330千円  
（5・7％）

（六）農下り水産業特別会計歳入歳出予算案  
764,526千円  
（3・4％）

（七）水道事業経費予算案については、事業収益が93,133千円、事業費が89,278千円、資本的収入が8,623千円、資本的収入が158,765千円、資本的収入が資本的支出に不足する額が2,142千円に不足しています。6年度分損益勘定留保資金60,000千円、当年度分損益勘定留保資金12,142千円で補てんします。





# まちの話題

## 浦添署員が キビ刈り操農隊

浦添署員が二月二十四日、西原町の入院中の男性に変わって、サトウキビの収穫と搬入を行いました。これは、同署小那覇交番所勤務署員が小那覇自治会から、サトウキビの収穫中に倒れた小那覇区民の男性の話を聞き、困っている人の手助けになればと行ったもの。この日は、石新政実副署長をはじめ約四十人の署員が非番を利用して参加し、午前八時から学小那覇のサトウキビ畑で汗を流し、約十トンを取り入れました。

石新副署長は「地域のみなさんには、いつも協力していただき感謝しています。自分たちで力になればという気持ちで参加した」と話しました。また、小那覇自治会のみなさんも収穫と搬入を手伝いました。



## 坂田児童館 完成

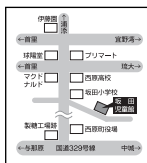
西原町第六六五番地に町立坂田児童館がこのほど完成し、四月一日に開館しました。町内では、西原児童館・西原児童館に次いで三番目となるこの坂田児童館は、町立坂田保育所の改築に伴い建てられ、一階は児童館・通園事業、あゆみ、二階は保育所の複合施設となっています。

### 【開館時間】

月曜日～土曜日  
午前10時～12時  
午後1時～5時  
【休館日】  
日曜日、祝祭日、年末年始

### 【連絡先】

坂田児童館  
西原町第665番地  
☎9446308



## 西原小学校が創立百二十周年

西原小学校の創立百二十周年記念式典・祝賀会が二月二十三日、同校体育館で行われ、PTA会員や関係団体職員、来賓、同窓生、学校職員、生徒と多数が参加し、百二十周年の歴史を祝いました。

記念式典では、大城誠一朗校長が、被照ミサ子校長の歴史をたどるスライド上映や多彩な余興が行われ、皆で楽しく西原小学校の百二十歳を祝いました。

また、記念事業として、音楽楽器部品の購入などが行われました。



## 市町村合併案を分析 第二回西原町市町村合併学習会

西原町市町村合併学習会（同実行委員会主催）が三月一日、午後、町中央公民館で行われ、約百人の町民が参加しました。

二回目の開催となった今回は、県の担当職員からの報告や西原町、浦添市、北中城村、中城村の五市町村で構成する企画担当若手連絡協議会の経過報告、役場町の若手職員で構成するまちづくり研究会一周年の合併案報告が行われました。

まちづくり研究会の合併案報告では、南部東部地区市町村との合併案、中部地区市町村との合併案、合併しない案の一案が三班に分かれて報告されました。

報告後、町民からは「合併を考える上で大変参考になった」と活発な意見が交わりました。

## トピックス

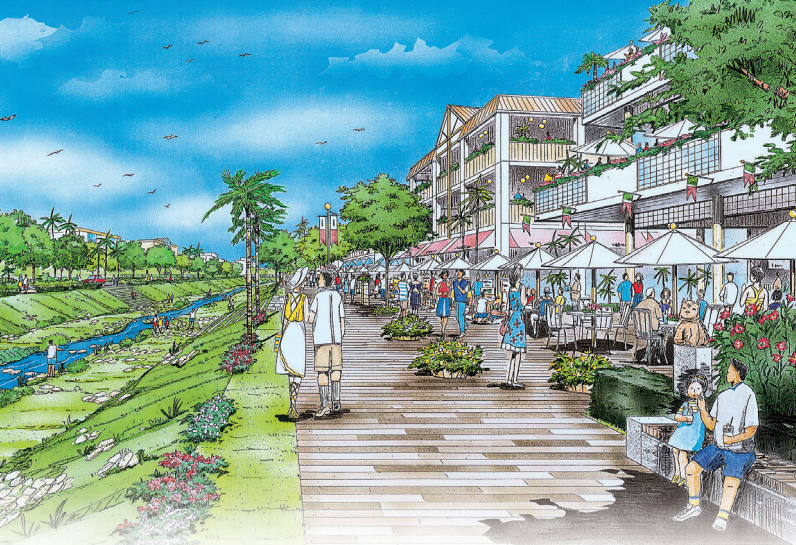


## 悪徳商法の怖さを劇で表現 消費者問題研究会

県内各地の行政窓口などで消費者問題に携わる相談員のみなさんが、二月二十八日、午後、町中央公民館で悪徳商法の相談実例を脚本にした劇を演じ、マルチ商法の怖さを訴えました。

舞台を演じたのは沖縄消費者問題研究会・山城圭子会長のみなさんと、県民生活センターと県内各地の相談員の方々が一年前に結成しました。これまでに県内各地や離島にも出向いて公演をしてきました。

この日は西原町女性団体連絡協議会（宮城幸子会長）の主催で招かれ、寸劇の他に山城会長の講話も行われました。劇の中で悪徳商法のリーディング役を演じたのは、玉那覇良江さんは「沖縄はユイメルや横のつながりが強く、マルチ商法の格好の市場になっている。多くの人に怖さを知ってもらい未然防止に役立てほしい」と訴えました。



『小波津川河畔まちづくり計画』河川を活かした中心商業地（商業ゾーン）のイメージ

## 小波津川河畔まちづくり計画とは…

河川を活かした自然と共生する河畔市街地の形成をめざします。

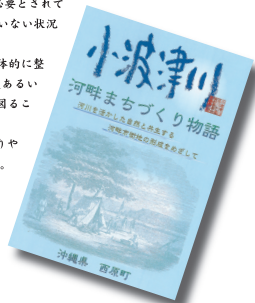
都市内を流れる河川には、水害を抑制する治水機能、火災・地震等の災害を抑制する防災機能、身近な自然を提供する環境機能、都市活動を支える空間機能が必要とされていますが、現在の小波津川は、これら諸機能を十分に発揮していない状況にあります。

小波津川河畔まちづくり計画は、小波津川と河畔市街地を一体的に整備・保全することで、本来河川が持つべきこれら諸機能を回復あるいは創出し、河畔市街地の課題解決と良好な市街地環境の形成を図ることを目的として平成13年3月に策定されました。

今後は住民、企業、行政が一体となり、環境に配慮し、ゆとりや豊かさが実感でき、個性的で快適なまちづくりを推進していきます。

※町では、小波津川河畔まちづくり計画についてのリーフレットを作成しましたのでご利用下さい。（西原町役場土庫にて配布）

問い合わせ先：西原町役場（土庫課）  
☎945-4415（担当/又吉）



## 小波津川が県管理となる2級河川に指定される!!

安心して暮らせるふるさとに一歩が踏み出されました。

大雨が降るたびに小波津川ははんらんし、人々が眠れない夜を過ごしています。町では、河川改修計画を推進していますが、町による単独整備は財政上困難なため、県管理となる2級河川に昇格させるために必要な8割の住民合意を得て指定及び整備要請を行いました。

要請を受けた県は、小波津川が公共の利害に重要な関係があるとの見解で去った2月26日、2級河川に指定しました。

そして、県は河川改修の事業化に向けて小波津川の河川整備基本方針及び整備計画の策定に着手しています。

かつては町民が水浴びや洗濯し、生活の中に生きていた川。整備が完成するころは、人間と自然が共生した新しい都市空間が生まれそうです。

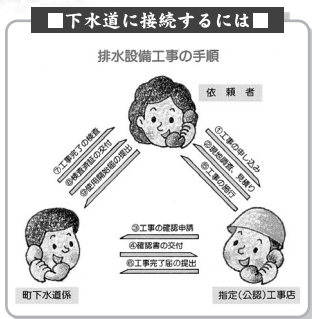
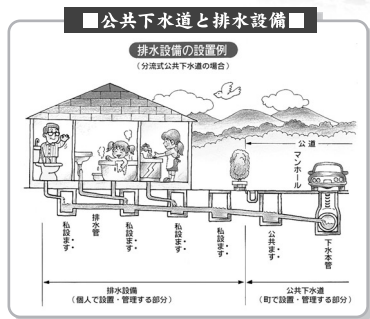
『小波津川河畔まちづくり計画』河川を活かした中心商業地（業務ゾーン）のイメージ





# 『下水道に接続しましょう!』

供用開始区域の皆様は下水道への接続をしていただくことになります。



○排水設備工事は融資あっせん制度があります。

## 下水道使用料について

下水道の使用が始まると、使用水量に応じて「下水道使用料」を支払っていただきます。下水道使用水量は、原則的には水道使用量に基づいて決めますが、井戸などの地下水を利用している場合には、使用の態様を勘案して個別に認定します。

### 下水道使用料金表

用 途 区 分		汚水量（1月当たり）		使用料
家 事 用	基本料金	8m³まで		450円
	超過料金	8m³まで	25m³まで	60円/m³
		25m³を超え	50m³まで	70円/m³
		50m³を超える分		80円/m³
業 務 用	基本料金	10m³まで		750円
	超過料金	10m³を超え	100m³まで	85円/m³
		100m³を超え	200m³まで	100円/m³
		200m³を超え	500m³まで	115円/m³
		500m³を超え	1,000m³まで	130円/m³
		1,000m³を超える分		145円/m³
大 衆 浴 場 用		1m³につき	40円/m³	
臨 時 用		1m³につき	100円/m³	

※下水道使用料金は水道料金と一っしょにお支払いいただくことになります。

※下水道に関するお問い合わせは、都市計画課(下水道係)TEL945-4496まで

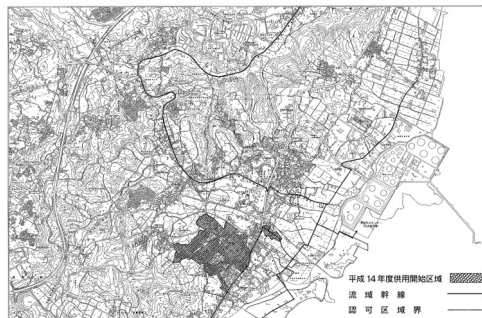


中城湾南部流域下水道促進協議会  
キャラクター (オヤオカリ)

# 『下水道一部供用開始のお知らせ』

西原浄化センター(下水道処理場)の完成に伴い、いよいよ本町においても一部の地域(下図)において下水道が使用できるようになります。

## 公共下水道供用開始区域図



供用開始日:平成14年4月10日

供用開始区域:字我謝の一部(国道海側、我謝、美咲の未整備区域を除く)  
字与那城の一部(与那城の未整備区域を除く)  
字兼久の一部(兼久の未整備区域を除く)  
字安室の一部(西原ハイツ、中央公民館付近のみ)

※家の前の工事が済んでいる個所でも流部が未整備なため供用開始が遅れる地域もありますので詳細については下水道係にお問い合わせ下さい。

## 下水道が完備されると

### 川や海がきれいになります

家庭や工場排水から出る汚れた水が直接川や海に流れこむことがなくなり、澄んだ美しい水になります。

### 清潔できれいな街になります

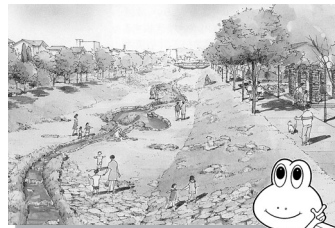
下水道が整備されると、汚水たれ流しや簡流放などがなくなり、ひどい悪臭はもちろん、蚊などの不快害虫の発生を防ぎ快適な生活が出来ます。

### 水洗トイレが使えます

下水道が整備されると悪臭の原因であるくみ取り便所から衛生的な水洗トイレに切り替えられ、さわやかな暮らしができます。また、浄化槽の清掃などめんどうな維持管理をしなくても済みます。

※せっかく下水道が整備されても、各家庭や工場等が下水道に接続しなければ下水道の役割は果たせません。

## 小波津川の整備イメージ





平和講演会

な意見が出て、参加者は戦争の悲惨さをあらためて実感したようでした。

なお、語りべのみなさんは次の方々です。（敬称略）

大浜徳進、佐久川松枝  
長嶺由光、仲宗根史子、新垣シゲ子、比嘉茂子、宮平盛彦、比嘉千代、根路路久子  
比嘉昭彦、城間期一、玉那覇文彦

図書館  
建設だより

平成十三年八月二日  
第一回図書館建設事業地権者説明会（地権者のみなさんに対して、図書館建設についての経過説明および事業説明を行いました）  
平成十三年八月十七日

1 地域社会全体の意識改革への施策  
 2 町民生活での省エネ推進のための施策  
 3 民間事業所での省エネ推進のための施策  
 4 公共機関での省エネ推進のための施策  
 の四つをあげています。

定です。

エネコラム」ということで省エネに関するさまざまな情報を毎月掲載していく予定です。

**町生活排水対策推進協議会が答申**

西原町生活排水対策推進

答申する渡久山委員長（右）

平成十三年十二月十三日  
西原町立図書館基本設計委  
託業務発注

平成十四年一月二十三日  
西原町立図書館建設事業に  
伴う物件調査委託業務発注

平成十四年一月二十九日  
第三回西原町立図書館建設  
事業地権者説明会（図書館  
建設事業の進捗状況について）

平成十四年度の予定

今年度は、『西原町史』第七巻・資料編六「西原の産業」が販売開始になります。出版祝賀会も予定していますので、みなさんのご参加よろしくお願ひします。

※年金額が年額18万円以上の人でも、こんなときは年金の額に関係なく9月分までは納付書で納めます。

- 平成13年度中に65歳になったとき。
- 平成13年度中に他の市町村から転入したとき。
- 平成13年度中に保険料額や年金額が変更になったとき。
- 年度の初め（4月1日）の時点で年金を受けていなかったとき。

## 特別徴収

の人は、年金受給月ごとに年金より差し引かれます。

前年度から継続して特別徴収の人の保険料は、4・6・8月と10・12・2月に区別されます。4・6・8月は、平成14年2月分の保険料額をそのまま差し引かれます（仮徴収）。10・12・2月は6月以降に確定する前年度所得などをもとに年間の保険料を算出し、そこから4・6・8月の保険料を除いて調整された金額を10・12・2月に振り分けて差し引かれます。（本徴収）

平成13年度			平成14年度					
10月	12月	2月	4月	6月	8月	10月	12月	2月
本徴収			仮徴収			本徴収		
			前年度の2月分の保険料額がそのまま差し引かれます。			前年度の所得をもとにした保険料から仮徴収分を除いた額が差し引かれます。		

## 仮徴収とは

特別徴収の人は、年金の給付（年6回）時に保険料が差し引かれますが、前年度所得が確定する6月以降でない保険料が決まらないため、4・6・8月は前年度2月分の保険料額をそのまま、仮に決めた保険料額としています。

## 毎月の保険料額は……

### 平成14年度 特別徴収（年金からの差し引き）（単位：円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
第1段階	3,400		3,400		3,400		3,500		3,400		3,400		20,500
第2段階	5,200		5,200		5,200		5,200		5,000		5,000		30,800
第3段階	6,800		6,800		6,800		6,900		6,900		6,900		41,100
第4段階	8,600		8,600		8,600		8,600		8,500		8,500		51,400
第5段階	10,300		10,300		10,300		10,300		10,200		10,200		61,600
天引きの日	1 5 日		1 4 日		1 5 日		1 5 日		1 3 日		1 3 日		

### 平成14年度 普通徴収（役場の窓口や銀行に個別納付）（単位：円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
第1段階				3,000	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500		20,500
第2段階				4,200	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800		30,800
第3段階				5,400	5,100	5,100	5,100	5,100	5,100	5,100	5,100		41,100
第4段階				6,600	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400		51,400
第5段階				7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700		61,600
納期限				3 1 日	9月2日	3 0 日	3 1 日	12月2日	1月6日	3 1 日	2 8 日		

# 介護保険料のしくみについて

## 【第1号被保険者(65歳以上の方)】

### 保険料の決め方

- 介護保険は、介護が必要な方を社会全体で支えるため、必要な費用を保険料と公費（税金）でまかないます。
- 65歳以上の方（第1号被保険者）の保険料の基準額は、西原町のサービスにかかる費用に応じて決まります。
- 保険料は前年中の所得の状況などに基づいた段階別の金額となり、個人ごとに決められます。

所得段階	対象者	割合	基準額×割合＝保険料額（年額）
第1段階	生活保護を受けている方 老齢福祉年金受給者で世帯全員が住民税非課税	0.5	41,100円×0.5＝ <b>20,500</b> 円
第2段階	世帯全員が住民税非課税	0.75	41,100円×0.75＝ <b>30,800</b> 円
第3段階	本人が住民税非課税	1.0	41,100円×1.0＝ <b>41,100</b> 円
第4段階	本人が住民税課税で年間合計所得金額が250万円に満たない方	1.25	41,100円×1.25＝ <b>51,400</b> 円
第5段階	本人が住民税課税で年間合計所得金額が250万円以上の方	1.5	41,100円×1.5＝ <b>61,600</b> 円

※「合計所得金額」とは、例えば年金収入のみの方であれば、年金収入額から公的年金控除額などを差し引いた額です。

※新たに65歳になられる方で、町外からの転入、西原町からの転出により、1年を通じて第1号被保険者とならない方の場合は、月割により保険料を計算します。

### 平成14年度の保険料の納め方は…

保険料の納め方には、「特別徴収（年金からの差し引き）」と、「普通徴収（役場の窓口や銀行、口座振替などによる個別納付）」の2種類があります。

## 普通徴収

の人は、年間の保険料を納付書で納めます。

保険料は、西原町役場から送付されてくる納付書の納期にしたがって納付します。納め忘れない口座振替が便利です。

## 平成14年度緊急地域雇用創出特別事業

【現在、失業している方で、仕事を捜している方へ】

町では平成14年度事業として、最近の厳しい雇用失業情勢に対応し、緊急かつ臨時的な雇用・就業機会の創出を図ることを目的とした「緊急地域雇用創出特別事業」を実施する予定です。この事業は国の補助金を活用し、公的な事業を町が民間会社、シルバー人材センター等に委託し、委託先から

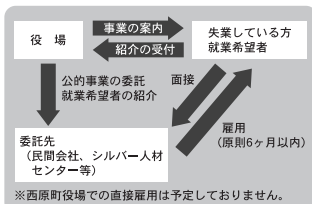
雇用されることになります。町は就業を希望された方を事業委託先へ紹介し、就業をお手伝いするというものです。今年度は約40名程度の雇用を想定し、以下の7つの事業を予定しています。現在失業者で就業をご希望される方は下記へお問い合わせ下さい。

- 1 雇用条件/現在失業者であること
- 2 雇用期間/6ヶ月未満
- 3 問い合わせ先/企画財政課財政係 TEL945-4533(内線212)
- 4 必要書類/就業希望受付票の提出(所定の様式)

※事業の実施時期・職種等は現段階では具体的に決まっていますので、事業の依頼先が決まり次第、随時、広報にしほらへ掲載する予定です。

事業名	業務内容
1 地域資料のデジタル化とシステム化事業	町が今までに収集してきた歴史的、文化的資料をデジタル化する作業
2 町図書館資源共有化事業	町内各図書館蔵書電算化に向けて、蔵書のマーク化等の作業
3 道路環境美化事業	町道等の清掃、草刈り、樹木の剪定作業等
4 都市美化事業	公園等の清掃草刈り、樹木の剪定作業等
5 町立小学校倉庫修繕事業	町内の小学校のトイレ、照明器具等の取替え(大工、電気、給水技術等)
6 生活環境調査事業	町内における不法投棄のパトロール、撤去等
7 福祉施設障壁軽減整備工事等	福祉施設等の修繕、大工、草刈り、樹木の剪定

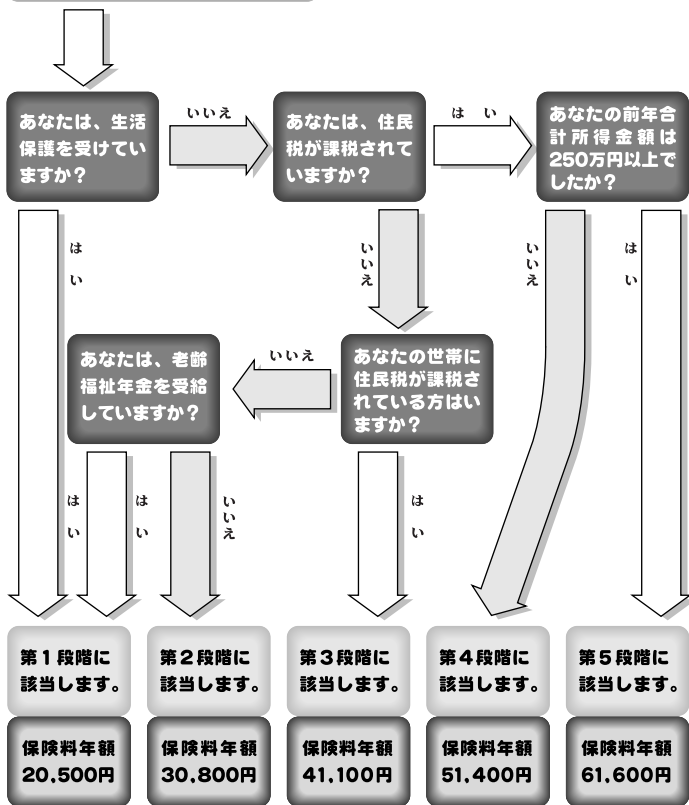
※事業内容については、実施段階で若干変更が生ずる場合もありますので、ご了承下さい。



※西原町役場での直接雇用は予定してありません。

あなたの平成14年度の介護保険料は…

## ここからスタート



※住民税は当該年度の保険料賦課期日（4月1日）の属する年度分

※合計所得金額は前年1年間（1月1日～12月31日）の所得金額の合計

## ご存じですか？

### 母子家庭、父子家庭及び寡婦のための介護人派遣事業

#### 【利用できる世帯】

母子家庭、父子家庭及び寡婦

- ・自立促進に必要な事由（技能習得のための通学、就職活動等）
- ・社会的事由（疾病、出産、看護、事故、災害、冠婚葬祭、失踪、転勤、出張及び学校等の公的行事への参加等）

※上記により、一時的に介護、保育等のサービスが必要な世帯及び父子家庭等になっておおむね6ヵ月以内の世帯とする。

#### 【利用時間】

1日(8時間)又は半日(4時間)を単位とする。

#### 【介護内容】

乳幼児の保育、食事の世話、住居の掃除、身の回りの世話生活必需品等の買物、医療機関等の連絡、その他必要な用務

#### 【費用の負担】

生活中心者の所得に応じて、無料もしくは、1日4,760円 半日2,380円が必要です。

#### 【介護人の派遣】

介護人を依頼する場合は沖縄県母子寡婦福祉連合会へ直接要請を行います。

※この事業を利用するためには、あらかじめ福祉課に必要書類を提出し、名簿に登録する必要があります。

問い合わせ：西原町役場（福祉課）☎945-5311(内線123)  
沖縄県母子寡婦福祉連合会 ☎866-4099

### 母子及び父子家庭等医療費助成事業について

#### 【事業の目的】

母子及び父子家庭等に対し、医療費の一部を助成することにより、生活の安定と自立を支援し、福祉の増進を図るための事業です。

#### 【対象者】

西原町に住所があり、医療保険に加入している人で、次の方が対象です。

- ①母子家庭の母と児童
- ②父子家庭の父と児童
- ③養育者が養育する子どものない児童

#### 【対象児童】

- ①父母が婚姻を解消した児童
- ②父母が死亡した児童
- ③父母が別に定める程度の障害の状態にある児童
- ④父母の生死が明らかでない児童
- ⑤父母が引き続き1年以上遺棄している児童
- ⑥父母が法令により引き続き1年以上拘禁されている児童
- ⑦母が婚姻によらないで懐胎した児童
- ⑧に該当するかどうか明らかでない児童

※児童については、18歳に達した日以後の最初の3月末日までの間にある者が対象となります。

※受給資格、所得制限等の詳細については、ご相談ください。

問い合わせ：西原町役場（福祉課）☎945-5311(内線123)



# 人間ドック・住民健診を上手に活用しましょう

「自分の体ことは自分がいちばんよく知っている」と断言する人がいます。しかし、本人が病気を自覚するのは、症状がかなり進んでからのことが多いものです。がんを始め、高血圧、高脂血症、糖尿病、心臓病などの生活習慣病は、症状が軽微段階ではほとんど自覚症状がありません。しかし、たとえ自覚症状がなくても、体は体内で異常が起きているというサインを出しています。その小さなサインを見つけるために行うのが健康診断（健診）なのです。健診の結果は、自分が気づいていない体の異常を知ることができるかもしれません。もし、早めに体の異常に気づくことができたなら、早期の治療も可能となります。

健診を受けた方がいい理由は、このような「病気の早期発見、早期治療」の他に、病気になるような傾向を見つづ、病気にならないように生活を改善する。「病気の予防」もあります。この段階なら、自分自身の工

夫と努力で病気を避けたり、遅ざねたりすることができま。また、その他に「健康増進」に役立っているという理由もあります。健診で健康状態が把握できたら、自分に適した運動や食事を生活の中に取り入れて、積極的に健康づくりをしましょう。

人の体は毎日変化しています。去年の健診で異常がなかったからといって今年もまた異常なしとは限りません。ぜひ、毎年受けることをお勧めします。また、健診ですべての病気が見つかるわけではありません。「異常なし」と判定されても、それは「検査を行った範囲での異常なし」ですから、年に1回は健診を受ける、あるいは異常を感じたらすぐに診察を受ける、ということをお忘れ下さい。

西原町では、14年度の計画として下記の事業を予定しています。職場などでも健診を受ける機会のない方は、ぜひ受けるようにしましょう。

人間ドック  
平成14年4月17日～受付

住民健診  
平成14年5月15日～

ゼツタイやせるぞ教室  
平成14年11月～

健診結果説明会  
平成14年7月4日～

月 日	事業名	対象者	場 所	受付時間
4 / 2 (火)	リ ハ ビ リ	脳卒中後遺症者等	社会福祉センター	13:30～14:00
8 (月)	心の病を癒える家族の心	心の病回復者の家族	中央公民館	14:00～16:00
9 (火)	リ ハ ビ リ	脳卒中後遺症者等	社会福祉センター	13:30～14:00
11 (木)	三歳児健診	H10.12.8～H11.1.11	中央公民館	13:30～14:15
12 (金)	はつらつ健康教室	健康増進に関心のある者	町民体育館	13:00～13:30
14 (日)	日本脳炎	小学4年・中学3年	町民体育館	9:00～10:30
16 (火)	リ ハ ビ リ	脳卒中後遺症者等	社会福祉センター	13:30～14:00
17 (水)	人間ドック受付	30歳以上の町民	中央公民館	9:00～16:00
18 (木)	一歳半健診	H12.9.15～H12.10.14	中央公民館	13:30～14:15
21 (日)	日本脳炎	小学4年・中学3年	町民体育館	9:00～10:30
23 (火)	リ ハ ビ リ	脳卒中後遺症者等	社会福祉センター	13:30～14:00
25 (木)	ポ リ オ	3ヶ月～7歳半	町民体育館	13:30～15:00
26 (金)	はつらつ健康教室	健康増進に関心のある者	町民体育館	13:00～13:30
7 (火)	リ ハ ビ リ	脳卒中後遺症者等	社会福祉センター	13:30～14:00
8 (水)	デ イ ケ ア	心の病回復者	健康衛生課集合	9:00～

お問い合わせ：健康衛生課/945-5013

## 児童手当

児童手当は、児童を養育している人に手当を支給することにより、家庭における生活の安定と、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資力の向上を目的としています。

### ○支給の対象

児童手当は、小学校入学前の児童を養育している人に支給されます。ただし、前年の所得（1月から5月までの月分の手当については前年度の所得）が一定額以上の場合には、所得制限により児童手当は支給されません。

### ○児童手当の額

第1子 5千円（月額）  
第2子 5千円（月額）  
第3子以降 1万円（月額）

### ○児童手当の支給

児童手当の支給は、認定請求をした日の属する月の翌月から開始（一部特例があります）され、支給事由の消滅した日の属する月分まで終わります。  
なお、手当は2月、6月、10月にそれぞれの前月分までが支給されます。

※申請主義となっていますので、出生届け、転入届を提出した方（児童手当受給該当者）は、福祉課窓口にて申請して下さい。

西原町役場福祉課・児童手当係 ☎(945) 5311（内線123）

## 西原町通園事業「あゆみ」

「あゆみ」は、こどが遅い、視線が合わない、落ち着きがない、歩けない、マヒがある、など発達に遅れのあるお子様のための通園事業です。親子で通園し、いろいろな遊びや生活体験を通して発達を促し、親子が共に成長していく中で、子どもに対する理解を深め、社会の一員として育てていくための学習の場です。

### 【指導内容】

遊びや生活指導中心の保育  
○発達に合わせた遊びのプログラムを組みます。  
○音楽療法士による「音楽療法」も年4回行っています。  
○公立保育所との交流保育を月4回実施します。

### 【巡回指導】

琉球大学、特殊教育科の先生が年数回巡回し、指導・助言します。

### 【対象児】

○西原町民であること  
○心身の発達に遅れのある児童  
○通園による指導になじむ児童  
○小学校就学前の児童  
○伝染性疾患を有しない児童

### 【保育日・時間】

毎週月曜日・金曜日／9時30分～12時

### 【保育場所】

坂田児童館 ☎(944) 6308

### 【申請場所】

西原町役場福祉課までお問い合わせ下さい  
☎(945) 5311（内線123）

## 母子・父子家庭入学激励金の申請について

町では母子家庭及び父子家庭に対し、小・中学校に入学する児童を扶養している家庭の福祉増進を図るとともに、児童の入学を祝い、激励するために入学奨励金を支給しています。入学奨励金を受ける場合、入学奨励金支給申請書の提出が必要となります。

### 【受給資格者】

西原町に住民登録をしていて、母子家庭及び父子家庭で平成14年度小・中学校に入学する児童を養育している方。

### 【入学奨励金の額】

児童一人につき1万円

### 【申請方法】

平成14年4月8日～4月19日までの間、福祉課窓口にて申請（対象者には別途通知します）

※詳しくは、福祉課 ☎(945-5311/内線123)へ、お問い合わせ下さい。

## 母親クラブ会員募集！！

母親クラブは「町の子どもは、みんな我が子」を合言葉に、児童館を拠点として子ども達の健全育成を目指し、活動する組織です。ただいま、下記の内容でクラブ活動を行っています。あなたも母親クラブに入って、一緒に子育てをしてみませんか!! 詳しいことは、各児童館へお問い合わせ下さい。

西原児童館（字我手） ☎(945) 4393

○親子で遊ぼうさくらんぼクラブ  
毎週火曜日／午前10時～11時半  
対象（0才～4才の幼児と保護者）

○マミーキッズクラス  
毎週木曜日／午前10時半～11時半  
対象（0才～4才の幼児と保護者）

○わははクラブ 第2土曜日／午後14時

西原東児童館（字基手） ☎(944) 0976

○手作りサークル  
毎週月曜日／午前10時～11時半

○マミーキッズクラス  
毎週金曜日／午前10時半～11時半  
対象（0才～4才の幼児と保護者）

○お話しサークル／対象（一般）

○親子で遊ぼう ひまわりキッズ  
毎週水曜日／午前10時半～11時半  
対象（0才～4才の幼児と保護者）

○わははクラブ  
第2土曜日／午後14時 対象（小学生～大人）

坂田児童館（字翁長） ☎(944) 6308

会員募集中です。みなさん遊びに来て下さいね！

★その他、子育て講演会、親子社会見学、まつりバザー、三世代交流など様々な行事を計画します！



# 生涯学習だより

第72号 平成14年4月1日  
西原町教育委員会  
生涯学習課  
TEL 098-945-8655

新しい風、生涯学習。



## 学級・講座案内

学級・講座名	内 容	対 象	期 間	時 間・場 所	定 員	申 込 期 間	備 考・連 絡 先
おはなし会	絵本の読み聞かせ	親子	4月1日(月)	16:00	なし		中央公民館 945-3657
東部消防本部主催事業 ●普通救急講習会		高校生以上	4月13日(土)	9:00~12:00	40	要申込	東部消防本部 署防護 946-9999
石川少年自然の家主催事業 ●宿泊指導員研修会 ●自然とふれあう親子のつとめ「ホテルウォッチング」 ●1日講習会		小中教諭 親子 成人	4月27日(土) 6月1日(土) 4月20日21日(土日)	16:00 宿泊可	80 80 14	先着順 先着順	石川少年自然の家 964-3263
玉城少年自然の家主催事業 ●スターウォッチング		親子	4月19日(金)	19:00	100	先着順	玉城少年自然の家 948-1513
県立博物館主催事業 ●シアターチャップリンの巨万長者ほか ●数学教室「さとうきびを皮をむいて新形糖を作ろう」 ●宮城野 沖野の自然文化・歴史		一般 小・中 一般	4月28日(日) 14:00 4月27日~12月15日(5回)		特になし 40	先着順	県立博物館 884-2243
県立教育センター「自然教室」 ●春の自然観察会 ●たのしい自然教室①		親子(小中) 親子(小中)	5月25日(土) 9:00~12:00 6月22日(土) 9:00~12:00	40組	5/14締切		県立教育センター 933-7513
(財)公園・スポーツ振興協会主催事業 ●健康水泳教室 A・B ●バドミントン教室 A		中高年 一般	5月1日~5月31日 10:00 5月8日~6月12日 10:00	40組 30	4/18~25 4/18~25		県スポーツ振興協会 932-5114

※プログラムの詳細については、各連絡先にお問い合わせ下さい。

## 「ヤングネットワーク・ウイング九州2002」同員募集!

未来へ羽ばたけアジア人!

実施期間: 平成14年8月17日(土)~25日(日)の9日間

研 修 先: 大韓民国(ソウル)、中華人民共和国(北京・西安)

対象年齢: 20~29歳

募集期間: ~平成14年5月10日(金)

※詳しくは県青少年・交通安全課(866-2174)若しくは  
HPアドレス <http://www.ynw-kyushu.org>



テーマ別研修(韓国福祉施設)



福岡県青年たちとの交流会

訪問地: 夢崎(万寿の宮)

「梅の香り」歌碑建立一周年記念事業

## 「梅の香り」唄あしび大会出場者募集

名曲「梅の香り」の生みの親であります故新川嘉徳氏の偉業を称え歌碑建立した一周年を記念して「唄あしび」大会を開催します。多くの方の応募をお待ちしています。

- 日 時: 平成14年4月28日(日) 午後5時開演
- 場 所: 小郡親児童公園特設会場(雨天時は小郡公民館)
- 資 格: 年齢、性別、国籍は一切問いません(但し性別は除く)
- 表 彰: 優勝、準優勝、作詞賞、審査委員特別賞
- その他: 参加料無料 作詞可
- 申し込み: ペア可/応募申し込み用紙を小郡親公民館宛提出(郵送・FAX)
- 歌合の仕方: 「梅の香り」歌碑建立一周年記念実行委員会  
(新川勝男 小郡親自治会) TEL・FAX 946-0748 (13:00~18:00)

※アトラクションとしてエイサー、獅子舞、舞踊「梅の香り」、民謡ショーなどありますので気軽にお越しください。



## 子ども放送局4月の番組案内

中央公民館視聴覚室 (10:30~12:00) **視聴自由**

子ども放送が今月からは毎週放送されます。

時間は10時30分から12時までに変更になりました。

4月	6日(土)	20日(土)
テーマ	～VTR番組～	～VTR番組～
10:30 ●子どもとしよん	10:30 ●子どもとしよん	10:30 ●子どもとしよん
10:45 ●いももの農耕記(さいじき)	10:45 ●いももの農耕記(さいじき)	10:45 ●いももの農耕記(さいじき)
11:00 ●のりもの農耕記(さいじき)	11:00 ●のりもの農耕記(さいじき)	11:00 ●のりもの農耕記(さいじき)
11:00 ●チャレンジ	11:00 ●チャレンジ	11:00 ●チャレンジ
11:30 ●スポーツを変えるものたち	11:30 ●スポーツを変えるものたち	11:30 ●スポーツを変えるものたち
11:30 ●のりもの農耕記(さいじき)	11:30 ●のりもの農耕記(さいじき)	11:30 ●のりもの農耕記(さいじき)
12:00 ●放送終了	12:00 ●放送終了	12:00 ●放送終了

13日(土)	27日(土)
～科学技術(かがくぎょう)～	～手芸(しゅげい)～
10:30 ●夢スタジオ1030	10:30 ●チャレンジ教室
10:45 ●夢スタジオ1030	10:45 ●チャレンジ教室
11:00 ●夢スタジオ1030	11:00 ●チャレンジ教室
11:15 ●夢スタジオ1030	11:15 ●チャレンジ教室
11:30 ●夢スタジオ1030	11:30 ●チャレンジ教室
11:45 ●夢スタジオ1030	11:45 ●チャレンジ教室
12:00 ●放送終了	12:00 ●放送終了

## 平成13年度子どもさんしん・子ども琉球舞踊講座開講式 1年の成果を披露!会場から大きな拍手!!



中央公民館の平成13年度事業として実施した「子どもさんしん」「子ども琉球舞踊」両講座の開講式を兼ねて発表会が開催されました。中央公民館では毎年、子どもたちへの伝統芸能の理解・継承に資する目的で一年を通じて開催しているもので13年度は、さんしん37名、琉球舞踊45名が受講しました。子どもたちの稽古の成果に会場に詰め掛けた家族等から多くの拍手が送られました。



事業名	日時	場所	連絡先	備考
おはなし会	4月1日(月)16:00	中央公民館	中央公民館	945-3657
小林流空手道大会	7日(日)9:00	町民体育館	事務局	
西原町人づくり支援の会チャリティ展示即売会	26~28日(金~日)	中央公民館		
母親クラブ総会	18日(木)10:00	西原児童館	西原児童館	945-4393
母親クラブ総会	19日(金)10:00	西原東児童館	西原東児童館	944-0976
歌学会	20日(土)14:00	坂田児童館	坂田児童館	944-6308
こいのぼり掲揚式	25日(木)10:00	西原児童館	西原児童館	945-4393
こいのぼり集会	25日(木)16:00	坂田児童館	坂田児童館	944-6308
第41回九州小国医科学生体育大会	26~28日(金~日)	町民体育館	事務局	895-3345
こいのぼり掲揚式	26日(金)10:00	西原東児童館	西原東児童館	944-0976
トランポリン	26日(金)14:00	西原東児童館	西原東児童館	944-0976
町民体育館無料開放	5月5日(日)9:00	町民体育館	町民体育館	945-8095

坂田児童館が4月1日にオープンしました。よろしくね! TEL.944-6308